

北海道新聞 2008 年 5 月 1 日

< 障害者交通費「助成削るならサポーター辞退」 >

**委嘱状交付式で市長に詰め寄る**

札幌市内の障害者の声を市の政策に反映する「市障がい者による政策提言サポーター制度」の委嘱状交付式が 30 日、市役所で開かれた。サポーターは障害者の意見のまとめ役で、任命された障害者が、障害者への助成削減の方針を打ち出す上田文雄市長に、撤回を求めて詰め寄る一幕があった。

この制度は福祉の充実を図る目的で 2003 年にスタートした。3 期目（1 期 2 年）が始まる本年度は、公募 4 人を含む 11 人がサポーターに選ばれた。

知的、精神障害のある東区の佐藤由美子さん（31）は、上田市長から委嘱状を手渡されると、障害者交通費助成事業の来年度以降の見直し方針に触れ「通所や外出の自由を奪う。制度を 1 つでも悪くするならサポーターを辞める」と発言。他の障害者もこれに同調した。

上田市長は突然の発言に驚きながら「当事者の意見を聞き、本当に必要な福祉を実現したい」と述べるにとどまった。

（栗田直樹）